海路の事なれば海路の船と一つかの鍋りんと云様
なるものと和尚山を指てこれ是山の上小松しと高サ七
尺を入て大石大木を一面小投をりれいを小拵まして海路
始めて彼百姓海中船小うを出て乗伝はんと
を指を指原の船頭と申すよりたりしら南へ高山小
芝川中て乗手れいこの原ひ芝ら新訴しをとんて
穂村遠四の衆諸事中和尚山名前を小拵新陶
を合て遠一鍋へとて鍋の鍋とし遠を坂海屋
名を合て押合て出づと組穂村えん衆大方のれ海屋
立て押ひ首をかんとをうる東小海屋鍋色しとかき

下をうこ海芝屋と鍋をとて遠西遠をうを和遠こを作
首を折屋をうを力を小貴き今度をうの大石遠西遠を坂
海屋社おれをうと云をうを中よりをうる訴て大石討悪
訴の門遠鍋りんとをうとの和尚りんや赤えんと世ぐをうを茶小
遠屋をされ声とか記をうを遠を逆伝切伝遠ひ小合掛
をうをいをうを遠海路小拵上京を東水芝路鍋をり
級小せ(バイボウ)しをきをうを入替を鍋逆こを合めて者をうを
芝て拵をうを右を右を結を合を知して横合をうを
を和(デ)目の下小芝屋を訴の物小和ひ首芝屋物をく
をうを拵小伝を芝て作をうを芝屋小遠をうを結を方